

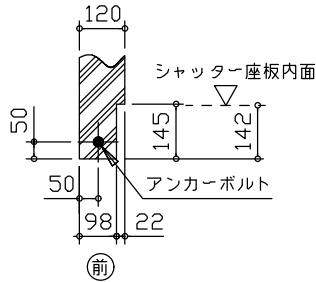
VGC-3059 (H) 型 2連棟

建築面積	34.06㎡ (10.30坪)	(間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	-----------------	---------------------

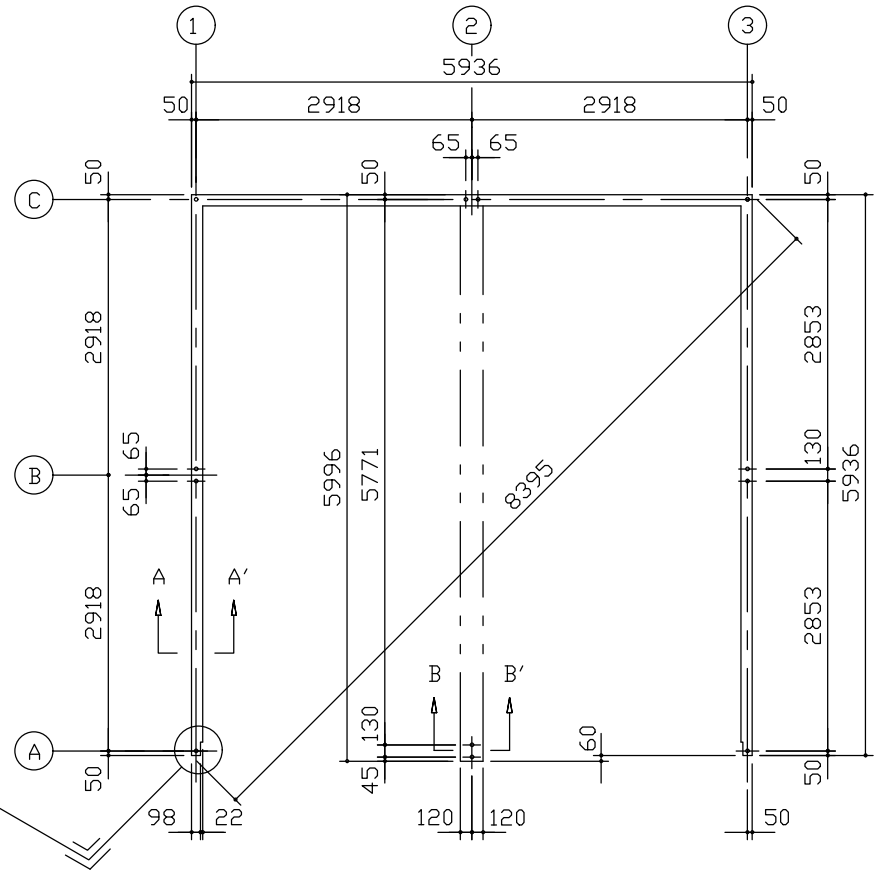
構造耐力上主要な部分の部材					
部 材 名	形 状	板 厚	使用材料		有効細長比
前 柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱(左右)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後 柱(中)	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前 柱(中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
桁 前	∟-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	∟-182.5 × 79	1.6mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	∟-155 × 85	1.2mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
梁	∟-310 × 114	2.3mm	JIS G3312	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	∪-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101	一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541	建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101	一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材					
部 材 名	形 状	板 厚	使用材料		
上 枠	∟-430 × 55	1.0mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
下 枠	∟-81 × 64	1.0mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
中柱カバー	∟-26 × 145	1.0mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
間 柱	∟-31 × 24	1.2mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
屋 根	∪-88 × 600	0.5mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
シャッタースラット	∟-14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
鼻 隠 し 前	∟-130 × 113	0.6mm	JIS G3322	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
鼻 隠 し 後	∟-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)		
ケ ラ バ	∟-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)		

シャッター降下面は土間を
水平に仕上げてください。

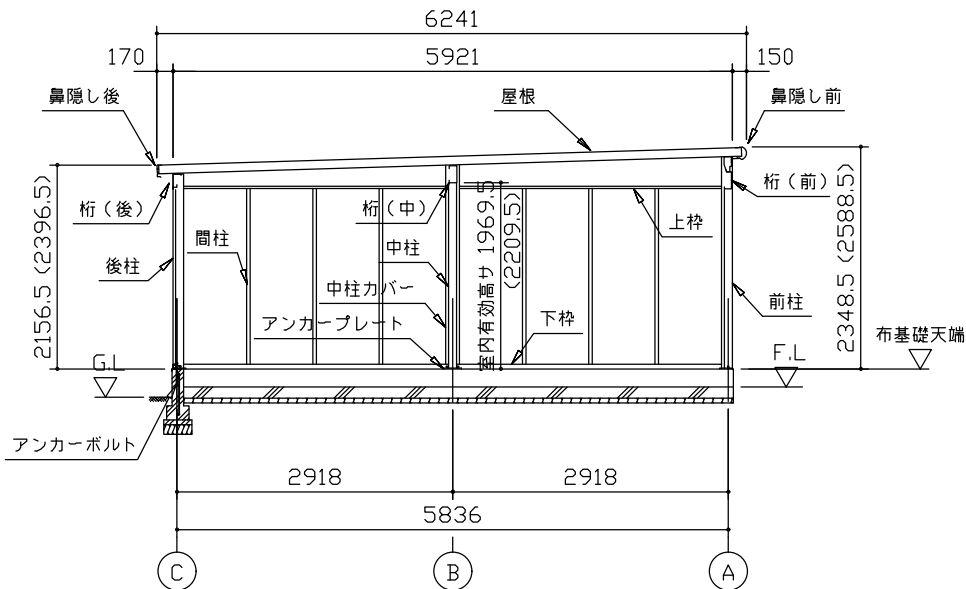


シャッター部分詳細図
(S =1/20)

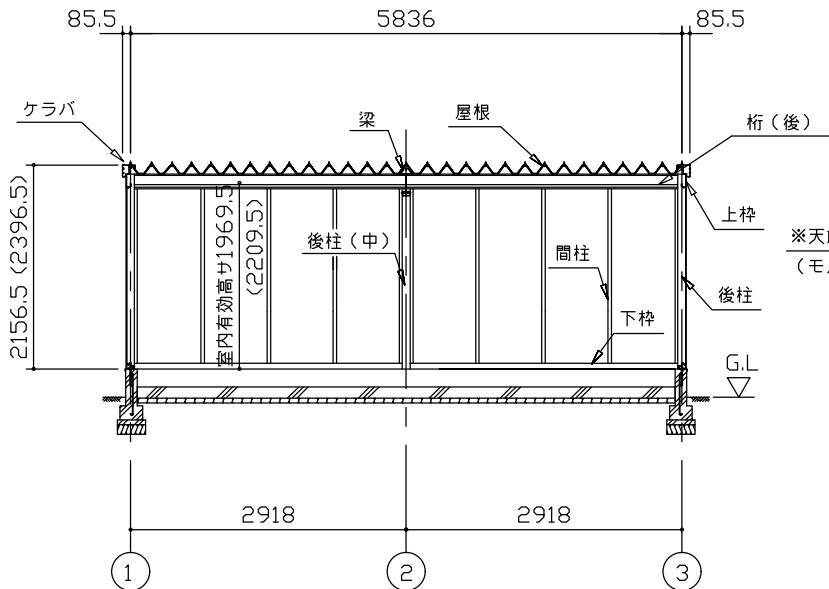


布基礎伏図 (S=1/80)

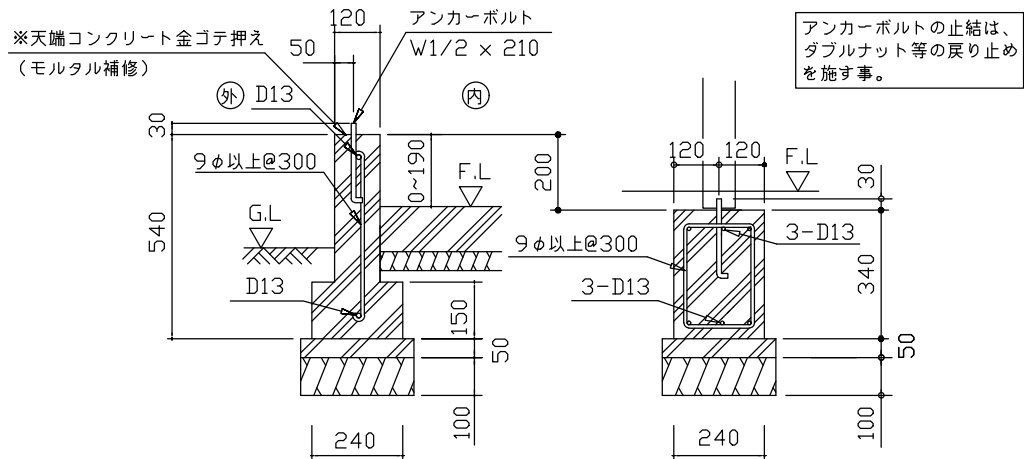
- ・布基礎断面図 縮尺=1/20
(地耐力 50kN/㎡以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm² 以上)
(基準風速 34m/s , 地表面粗度区分Ⅱ)
<上記条件での参考図です。>
注1)地耐力が 50kN/㎡ 未満 (30kN/㎡ 以上) の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。
注2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



側面断面図 (S=1/80)



正面断面図 (S=1/80)



A ~ A'断面

B ~ B'断面

- ・() 内寸法ハ、Hタイプヲ示ス。
- ・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名 称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 淀川製鋼所
機種名	VGC-3059(H)型 (2連棟)	